

サシマシ移住地 営農機械化 三ヶ年計画

C-2/

サシマシ移住地

営農機械化 三ヶ年計画

サシマシ移住地 営農機械化 三ヶ年計画

LIBRARY

国際協力事業団

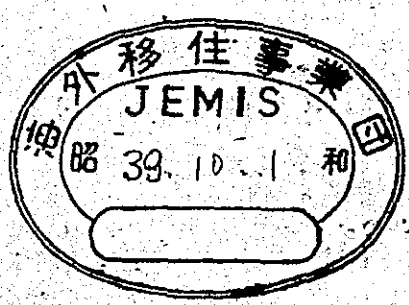
受入 月日 '84. 8. 21	702
	838
登録No. 13373	EM

サンファン移住地
営農機械化3ヶ年計画



Cop 10

サンファン移住地
営農機械化3ヶ年計画



1964.9.5

サンタクルス支部

JICA LIBRARY



1054408[8]

サンファン移住地営農機械化3ヶ年計画

サンファン移住地において現在採られている営農方式は、原始的な焼畑農法である。これが手順としては、原始林を伐開して火を放ち、燃えるものは燃やし、残った倒木、切株はそのままにして、耕やすことなく種子を播き、1年後は他に移って毎年同じことを繰り返す原始的農法を行っている。従って一定の耕地を有せず、年数を経ても耕地面積の増加はなく、毎年多額の無駄な開墾資金を投入している。この投下資本に対して経済効果があがっていないところがサンファン移住地の特色である。

この農法が採られているため、^{すくに}8年を経た今日でも伐開したところは全て再生林となり、完全に耕地化されたものは皆無と云っていい。また、倒木、切株があるために土地利用率は低く、60～70%と見られ、また、これらの障害物を乗り越えての作業は莫大な^{とわら}労力を要し、また、耕地が一定していないため、土地に愛着が少なく、土地改良の意欲も湧かない。単位面積当たりの収益も少ないので農家経済も安定しない。

このような状況にある大きな原因は、倒木、切り株の除去が人力では至難であるために耕作機械の利用も不可能な状態で、勢い高賃金を払って労働者を雇い営農を極度に苦しくしていることである。

これが方向策としては機械力によって再生林にある倒木、切り株を除去し、その後の農作業をも機械化して生産費を節減し、土地の完全な耕地化と永久化を行ない収益の増大を図ることが望ましい。

この機械力の導入によって3ヶ年間に2,500 Ra (1戸平均10 Ra)の耕地を造成し、併せて栽培収入面においても画期的増収を図りサンファン再建に資しようとするものである。

なお、これが機械化の資金としては、融資金ではなく、国の交付金で賄うことにしたい。これが理由としては、現在サンファン組合に対する事業団よりの貸付債権額は本年8月30日現在¥287,826.42 (短期¥191,166.53、長期¥96,659.89、1戸平均¥1,111.30)であり、現在の営農規模からみて、

到巻期限内の返済は困難視される。すでに返済期が到来している短期融資#191,166.83が延滞している実情に徴しても明らかである。従って、このような経済状態のサンファン組合、組合員に対しさらに機械化融資を適用し、多額の負債を負わせることはできない。また、やるべきではない、以上の実状に鑑み、サンファン再建は機械化営業を実施することなくして困難である事実が明白である以上、当協会の交付金でなされなければならない。よって、交付金によるサンファン営業機械化3ヶ年計画を下記の如く策定した。

丁 機械購入費 129,880,000円

(イ) 初年度

種類	数量	単価	金額	備考
ブルドーザ	2台	15,800,000円	31,600,000円	D7E
トラクトール	2	2,700,000	5,400,000	ジャンボア-4010
プラウ	2	756,000	1,512,000	
ハロー	2	504,000	1,008,000	
コンバイン	2	6,120,000	12,240,000	自設用プラウ付
計	10		51,760,000	

(ロ) 2年度

種類	数量	単価	金額	備考
ブルドーザ	0台	0円	0円	
トラクトール	7	2,700,000	18,900,000	
プラウ	7	756,000	5,292,000	
ハロー	7	504,000	3,528,000	
コンバイン	2	6,120,000	12,240,000	
計	23		39,960,000	

(ハ) 3年度

種類	数量	単価	金額	備考
ブルドーザ	0台	0円	0円	
トラクトール	5	2,700,000	13,500,000	
プラウ	5	756,000	3,780,000	
ハロー	5	504,000	2,520,000	
コンバイン	3	6,120,000	18,360,000	
計	18		38,160,000	

(註) 耕作機械は経営の都合上耕耘用プラウ、ハロー、収穫機に止める。

戊 施設費 14,508,000円

(イ) 初年度

名称	数量	単価	金額	備考
機械置場	1棟 200m ²	6,000円	1,200,000円	

(ロ) 2年度

名称	数量	単価	金額	備考
機械置場	450m ²	6,000円	2,700,000円	
宿舎(A)	1棟24m ² 5棟	18,000	2,160,000	24m ² ×5×18,000
宿舎(B)	1棟 48m ²	18,000	864,000	合宿用
計			5,724,000	

イ) 3年度

名称	数量	単価	金額	備考
機械置場	400m ²	6,000 円	2,400,000 円	
宿舎(A)	1棟 24m ² 10棟	18,000	4,320,000	24m ² ×10×18,000
宿舎(B)	1棟 48m ²	18,000	864,000	
計			7,584,000	

註：3年間に機械23台（ブルドーザ2、トラクトール14、コンバイン7）の機械置場及びその運転手23名、助手23名、事務員2名、計48名の従業員のための宿泊施設を必要とする。

III 賃金 60,960,000 円

- (1) 初年度 8,370,000 円
 運転手 6名 } @ 525円×1,300時×12名 = 8,190,000 円
 助手 6名 }
 事務員 1名 @ 15,000円×12月×1名 = 180,000 円
- (2) 2年度 20,835,000 円
 運転手 15名 } @ 525円×1,300時×30名 = 20,475,000 円
 助手 15名 }
 事務員 2名 @ 15,000円×12月×2名 = 360,000 円
- (3) 3年度 31,755,000 円
 運転手 23名 } @ 525円×1,300時×46名 = 31,395,000 円
 助手 23名 }
 事務員 2名 @ 15,000円×12月×2名 = 360,000 円

IV 機械維持費 85,885,800 円

名称	年運転時間 台	燃料費	整備費	合計
		円	円	
(イ) ブルドーザ 1台	1,300	722,800	4,468,100	5,190,900 円
(ロ) ブラウ 1台	650	289,250	269,100	558,350 円
(ハ) ハロー 1台	650	289,250	249,600	538,850 円
(ニ) コンバイン 1台	1,300	1,146,600	954,200	2,100,800 円

(A) 初年度計

機械名	台数	燃料費	整備費	計
ブルドーザ	2	1,445,600 ^円	8,936,200 ^円	10,381,800 ^円
プラウ	2	578,500	538,200	1,116,700
ハロー	2	578,500	499,200	1,077,700
コンバイン	2	2,293,200	1,908,400	4,201,600
計		4,895,800	11,882,000	16,777,800

(B) 2年度計

機械名	台数	燃料費	整備費	計
ブルドーザ	2	1,445,600 ^円	8,936,200 ^円	10,381,800 ^円
プラウ	9	2,603,250	2,421,900	5,025,150
ハロー	9	2,603,250	2,246,400	4,849,650
コンバイン	4	4,586,400	3,816,800	8,403,200
計		11,238,500	17,421,300	28,659,800

(C) 3年度計

機械名	台数	燃料費	整備費	計
ブルドーザ	2	1,445,600 ^円	8,936,200 ^円	10,381,800 ^円
プラウ	14	4,049,500	3,767,400	7,816,900
ハロー	14	4,049,500	3,494,400	7,543,900
コンバイン	7	8,026,200	6,679,400	14,705,600
計		17,570,800	22,877,400	40,448,200

V 耕地造成計画

区別	1年目	2年目	3年目	計
使用するブルドーザ台数	2台	2台	2台	2台
ブルドーザ開墾面積	840ha	840ha	840ha	2,520ha
使用するトラクトール台数	(2)台	(9)台	(14)台	14台
トラクトールによる耕地化面積	840ha	840ha	840ha	2,520ha
耕地化面積合計	840ha	1,680ha	2,520ha	2,520ha
2作可能面積	420ha	1,260ha	2,100ha	2,100ha
1作可能面積	420ha	420ha	420ha	420ha
可耕地延面積	1,260ha	2,940ha	4,620ha	4,620ha
使用するコンバイン台数	2台	4台	7台	7台

- 註：① ブルドーザ開墾面積1台年420ha
 ② トラクトール耕作1台1作業 年約325ha
 ③ コンバインによる収穫面積1台 年約650ha

IV 年次別作付計画

年次	耕地面積	作付総面積	米	大豆	小麦	400 (ha)
1年	840 ha	1,260 ha	840 ha	420 ha		
2年	1,680 ha	2,940 ha	1,680 ha	840 ha		420 ha
3年	2,520 ha	4,620 ha	2,520 ha	630 ha	630 ha	840 ha

V ブルドーザによる開墾費 (ha)

作業時間 a.	償却費 b. (時)	燃料費 c. (時)	整備費 d. (時)	労賃 e. (時)	計 a × (b+c+d+e)	備考
3	1,422 円	556 円	3,437 円	525 円	17,850 円	年1台開墾面積 420 ha

VI トラクトール及びコンバインを用いた耕作費 (ha当り1作)

機械名	作業時間 a.	作業回数 b.	償却費 c. (円)	燃料費 d. (円)	整備費 e. (円)	労賃 f. (円)	計 a × (b × (c+d+e+f))
プロウ	2	1 回	403 円	445 円	414 円	525 円	3,574 円
ハロー	1	2 回	348 円	445 円	384 円	525 円	3,404 円
コンバイン	2	1 回	941 円	882 円	734 円	525 円	6,164 円
計							13,142 円

VII 機械利用と人力耕作の場合の収益比較

(A) 耕作費における収益

(i) 機械利用の場合の耕作費 (円)

作物名	耕起整地(機)	播種(人カ)	除草(人カ)	薬剤散布(台)	収穫(機)	計
米	6,978 円	1,500 円	9,500 円	1,200 円	6,164 円	25,342 円
小麦	6,978 円	1,500 円	9,000 円	1,200 円	6,164 円	24,842 円
大豆	6,978 円	1,500 円	9,000 円	—	6,164 円	23,642 円

註：耕起、整地及び収穫は機械を用い、他の作業は人力による。

(ii) 人力のみによる耕作費 (円)

作物名	作業(人カ)	播種	除草	薬剤散布	収穫	計
米	11,150 円	1,500 円	9,500 円	1,200 円	18,000 円	41,350 円
小麦	11,100 円	1,500 円	9,000 円	1,200 円	9,000 円	31,800 円
大豆	11,100 円	1,500 円	9,000 円	—	10,000 円	31,600 円

(iii) 機械利用の場合の収益増 (円) … (ロ-イ)

作物名	収益増 (円)
米	15,958 円
小麦	6,958 円
大豆	7,958 円

註：耕起、整地及び収穫の機械化のみによる収益増となる。

(A) 耕作費における収益増
(イ) 初年度

98,912,480円

作物名	作付面積	ha当り収益増	金額	備考
米	840 ha	15,958 円	13,399,720 円	
大豆	420	7,958	3,342,360	
計	1,260		16,742,080	

(ロ) 2年度

作物名	作付面積	ha当り収益増	金額	備考
米	1,680 ha	15,958 円	26,809,440 円	
小麦	840	6,958	5,844,720	
計	2,520		32,654,160	

(ハ) 3年度

作物名	作付面積	ha当り収益増	金額	備考
米	2,520 ha	15,958 円	40,214,160 円	
大豆	630	7,958	5,013,540	
小麦	630	6,958	4,383,540	
計	3,780		49,611,240	

(B) 生産物による収益増
(イ) 初年度

82,719,000円

作物名	作付面積	ha当り収益増	金額	備考
米	840 ha	12,400 円	10,416,000 円	
大豆	420	9,600	4,032,000	
計	1,260		14,448,000	

(ロ) 2年度

作物名	作付面積	ha当り収益増	金額	備考
米	1,680 ha	12,400 円	20,832,000 円	
小麦	840	6,900	5,796,000	
計	2,520		26,628,000	

(ハ) 3年度

作物名	作付面積	ha当り収益増	金額	備考
米	2,520 ha	12,400 円	31,248,000 円	
大豆	630	9,600	6,048,000	
小麦	630	6,900	4,347,000	
計	3,780		41,643,000	

